

標準委員会 第37回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録

1. 日時 2017年12月01日（金） 14：00～15：40

2. 場所 5東洋海事ビル A+B 会議室

3. 出席者（敬称略）

（出席委員） 萩原（部会長），堺（幹事），石川，伊藤，北島，越塚，坂本，田中，日比，平野，宮坂，吉田（12名）

（代理委員） 安藤浩二（日立GEニュークリア・エナジー／木藤），坪倉秀樹（日本原子力発電／佐々木），松木岳（三菱総合研究所／松本），張 承賢（東京大学／山口）（4名）

（欠席委員） 岡本，小野，佐田（3名）

（説明者） 【風洞実験実施基準分科会】伊藤幹事（1名）

（事務局） 中越，田老，谷井（3名）

4. 配付資料

ATC37-0 議事次第

ATC37-1 前回議事録（案）

ATC37-2 人事について

ATC37-3 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準”の標準改定原案に関する公衆審査結果について

ATC37-4 分科会の活動状況について

ATC37-5 基盤応用・廃炉技術専門部会（平成30年度版案）

参考資料

ATC37-参考1 基盤・応用技術専門部会委員名簿

ATC37-参考2 標準委員会の活動状況

ATC37-参考3 基盤・応用技術専門部会出席実績

5. 議事内容

事務局から開始時点で委員19名中，16名の出席があり，委員会成立に必要な委員数（13名以上）を満足している旨，報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（ATC37-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事について（ATC37-2）

事務局からATC37-2に基づき，分科会の人事について下記の提案があり，委員の退任が確認され，審議の結果，委員の選任が決議された。

1) 専門部会

なし

2) 分科会

① 委員退任の確認

【シミュレーションの信頼性分科会】

越塚 誠一（東大）

② 委員選任の承認決議

【シミュレーションの信頼性分科会】

酒井 幹夫（東大）

(3) 【報告】 ” 発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準” の標準改定原案に関する公衆審査結果（ATC37-3）

風洞実験実施基準分科会の伊藤幹事からATC37-3に基づいて、” 発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準” の標準改定原案に関する公衆審査で意見がなかったことが報告された。

なお、一般事項として標準策定について以下を委員で確認、合意

- ・ 誤記の訂正については分科会レベルでしっかり確認する
- ・ 審議プロセスの透明化、品質保証のためエビデンスは学会サーバーに残すようにする

(4) 【報告】 分科会の活動状況、標準策定5カ年計画、倫理規定等講習活動について（ATC37-4, ATC37-5）

各分科会代表等の関係者からATC37-4, ATC37-5に基づいて、分科会の活動状況、標準策定5カ年計画、倫理規定等講習活動について報告があった。

主な質疑等は以下のとおり。

・ 各分科会において前回分科会開催時、または直近の開催のない場合は資料送付による個別学習により、倫理教育ならびに標準策定活動の方針、ガイドライン等の確認を実施したことの報告があった。

・ 各分科会から最新知見・動向の調査状況と5か年計画への反映について報告があった。放射線遮蔽分科会から遮蔽計算に用いる線量換算係数のICRP、ICRUおよび国内法令動向、廃止措置分科会からは廃止措置施設へのグレーデッドアプローチの取込み計画の報告がされた。

5か年計画についてはこれらのマイルストーンを追記して改定する方針を合意した。

・ 放射線遮蔽分科会から、秋の大会における企画セッション“遮蔽計算に用いるコンクリートの材料組成の標準化”の開催報告があった。セッションでの議論・意見については作業会を通じて策定案に反映されていることを確認済。

(5) その他

- ・ 次回第38回基盤応用・廃炉技術専門部会は、2月26日(金)午後から開催することになった。

以上